

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月30日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都品川区旗の台1丁目5-8

氏 名 学校法人 昭和大学 理事長 小口 勝司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3784-8000(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	昭和大学病院
事業場の所在地	東京都品川区旗の台1丁目5-8
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	512t	全処理委託量	512t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	512t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ホリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	527.16t
	前年度	515.93t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)

- ・電子マニフェストを導入しているため、年間を通しての利用状況を委託業者の本社担当へフィードバックを行った。
- ・毎月の予約登録の際は、回収日の変更もあるため、営業担当者へ月単位の回収スケジュールに変更が無いかの確認を行った。

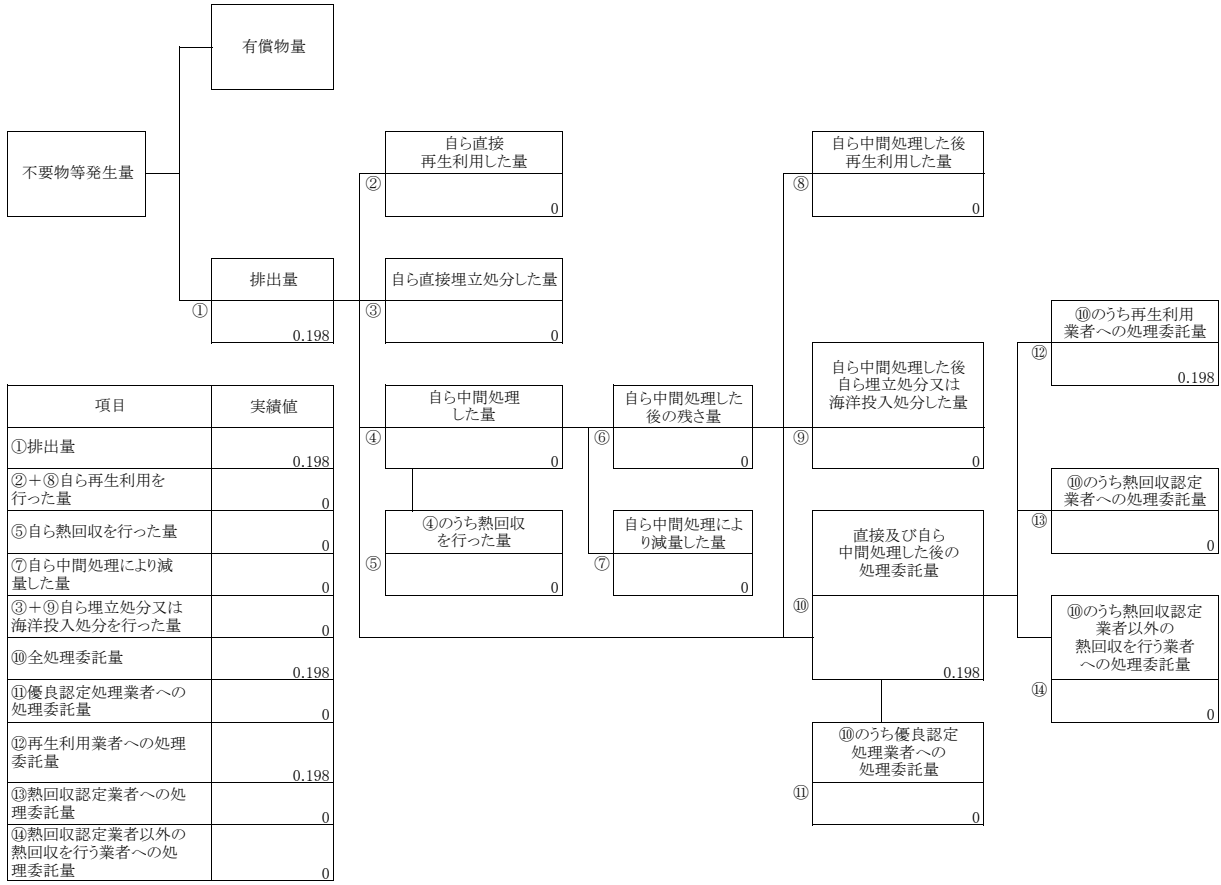
※事務処理欄

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔第2面入力支援用シート〕

名称	計 画 の 実 施 状 況									直接及び自ら				
	①排出量 (a)	②自ら直接 再生利用した量 (b)	③自己直接立 処分した量 (c)	④自ら中間処理した量 (d)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (e)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (f)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (g)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (h)	⑨自ら中間処理した後 自ら立処分又は海 洋投入処分した量(i)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (j)	⑪優良認定処理業者 への処理委託量(k)	⑫再生利用業者への 処理委託量(l)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(m)	⑭熱回収認定業者以外の 処理委託量(n)
特別管理産業廃棄物の種類	当該事業場において 生じた特別管理産業 廃棄物の種類ごとの 量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間処理を せず自ら立処分した量	①の量のうち、自ら中 間処理した特別管理産 業廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱 回収を行った量	④の量から⑤の量 を差し引いた量	④の量から⑥の量 を差し引いた量	⑥の量のうち、自 ら利用し、又は他 人に売却した量	⑥の量のうち、自ら 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処分 を委託した量	⑩の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	⑫の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑬、⑭ 除く)	⑬の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処 理業者への焼却処理委 託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行っている処理業者へ の焼却処理委託量
廃油	0.198									0.198		0.198		
廃酸														
廃アルカリ														
感染性廃棄物	515.72									515.72		515.72		
特定有害産業廃棄物	廃PCB等	0.08								0.08				
	PCB汚染物													
	PCB処理物													
	指定下水道汚泥													
	鉛さい													
	廃石綿等													
	燃え殻													
	ばいじん													
廃油(炭溶剤)														
汚泥(金属等を含むもの)	0.01									0.01				
廃酸(金属等を含むもの)														
廃アルカリ(金属等を含むもの)														
廃水銀等														
合計	516.008	0	0	0	0	0	0	0	0	516.008	0	515.918	0	

計画の実施状況

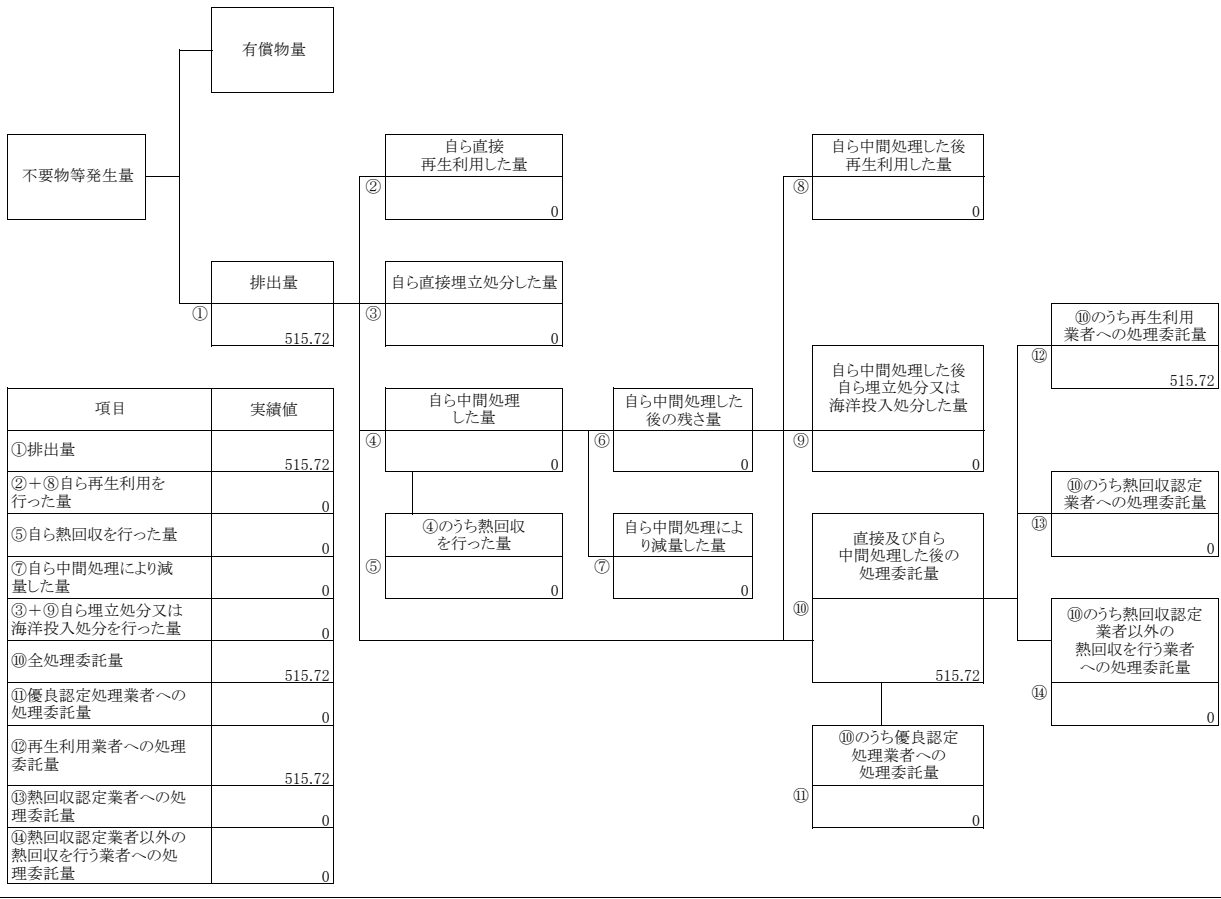
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油)



項目	実績値
①排出量	0.198
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.198
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	0.198
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 感染性廃棄物)



項目	実績値
①排出量	515.72
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	515.72
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	515.72
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。